



# 学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和4年8月31日

第5号



「おはようございます。お久しぶりです。」

校長 神田 敏之

夏休みが終わり、子どもたちが登校してきました。つけたしのあいさが上手な子どもが「お久しぶりです」と言ってきました。それを聞き、本当に久しぶりだなあと感じました。1年生の子どもたちの顔を見ると何か引き締まった感じがします。およそ一か月会わなかっただけなのに、夏休みの間にいろいろな経験をしてきたのでしょう。

自由研究の作品を持ってきている子どももいました。自分で問題（課題）を見つけるということはとても難しいです。問題の見つけ方を学び、見つける経験を重ねることにより、自分で問題を見つけられるようになると考えています。

いろいろな調査の中で、日本の子どもは与えられた問題を解決することは得意だが、問題を発見することに課題がある、また自己肯定感が低いという課題があると指摘されています。学習活動や行事などでリーダー・イン・ミーの考え方を共通理解し、自分で考え、判断し、行動できる姿を目指していきます。

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

話は変わりますが、あるとき、子どもから次のように聞かれました。「校長先生は、プレゼントをあげるほうが好きですか、もらう方が好きですか。」考えてもみななかった質問に、瞬間的にどちらだろうと考えました。そして「あげるほうかな」と答えました。

思い付きで答えたので、改めてなぜそのように考えたのかも含めて考えてみました。これを読んでくださっている皆さんはいかがですか。どのように答えますか。

プレゼントの相手を想定すると、相手によって答えは変わるかもしれません。家族、友達、近所の人、職場の人などいろいろな相手が考えられます。相手によってもらう方、あげる方と変わるかもしれません。

私は、このプレゼントの話で「信頼貯金」を思い浮かべました。リーダー・イン・ミーに「信頼貯金」という話があります。人との習慣を築いていく上で、土台となる考え方です。低学年にはわかりやすいように貯金箱に例えて話をしています。

人と人之间には貯金箱があり、相手の人に喜んでもらえることをすると信頼の貯金がたまります。相手の人が嫌がることをして信頼できない状態になると、貯金が引き出されてしまいます。お互いに貯金がたまるような行動をしておけば、何か失敗をしてもその人との関係が壊れることはありません。

本校は職員数が少ないので、日頃から自分の役割や担当を個々に行うのではなく、互いに助け合い、「信頼貯金」をためています。私もこの夏休み中、職員室の文具コーナーや会議スペースの整理整頓に取り組み、働きやすいようにしました。このようなことから「信頼貯金」という視点では、「プレゼントをあげる」という方が好きという答えになると思いました。